

平成16年11月24日

日本学術振興会  
プロセスシステム工学第143委員会  
委員長 小野木 克明

プロセスシステム工学第143委員会  
第150回委員会・平成16年度第4回研究会 開催通知  
(143委員会ホームページ <http://jsps143.pse.nuce.nagoya-u.ac.jp/>)

1. 日 時：2004年12月10日（金） 13:00～17:00 委員会・研究会  
17:00～19:00 懇親会
2. 場 所：弘済会館（東京都千代田区麹町5-1／電話：03-5276-0333）  
（交通：JR 中央線・地下鉄丸の内線「四ッ谷駅」下車徒歩3分）
3. 委員会：(13:00～13:10)
4. 研究会：(13:10～17:00) テーマ：「レシピエンジニアリング」
  - 13:10～14:00 「バッチプロセスとレシピエンジニアリング」  
名古屋工業大学 伊藤利昭 委員  
＜概要＞開発から市場投入までの時間の短縮が、ビジネスでの重要な課題になっている。そのため、研究開発からエンジニアリング、生産にいたるプロセスを体系的に整理する必要があり、そのキーとなるのが、レシピのありかたである。ここでは、レシピエンジニアリングの意義と課題を解説する。
  - 14:00～14:50 「製品開発とレシピ」  
東京工業大学 瀧野哲郎 委員  
＜概要＞R&D から製造へのアクティビティを整理し、開発から製造をスムーズにつなぎ、製造装置の変更、製造条件の探索をいち早く行うためにあるべき、製品情報、プラント情報、製造手順の姿について解説する。
  - 14:50～15:10 コーヒーブレイク
  - 15:10～16:00 「コントロールレシピとコントロールレイヤ」  
16:00～16:20 「コントロールレシピ自動生成の検証事例」  
東京工業大学 青山 敦 委員  
三菱化学(株) 吉武信治 氏  
＜概要＞バッチプロセスにおけるレシピ及び操作管理をより高度化するためのプラント構造、マスターレシピ、コントロールレシピの情報モデル、データ構造について解説する。また、それを基盤するコントロールレシピの論理的生成手法についても解説し、三菱化学(株)でのコントロールレシピ自動生成の検証事例について紹介する。
  - 16:20～17:00 総合討論
5. 懇親会：(17:00～19:00)

<追記>

準備の都合がありますので、出欠を裏面にご記入の上、12月6日（月）までにご回答下さい。  
懇親会は、会費5,000円とさせていただきます。